

# 東北地方 1 か月予報

( 10月19日から11月18日までの天候見通し )

平成14年10月18日  
仙台管区气象台発表

## < 予想される向こう1か月の天候 >

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

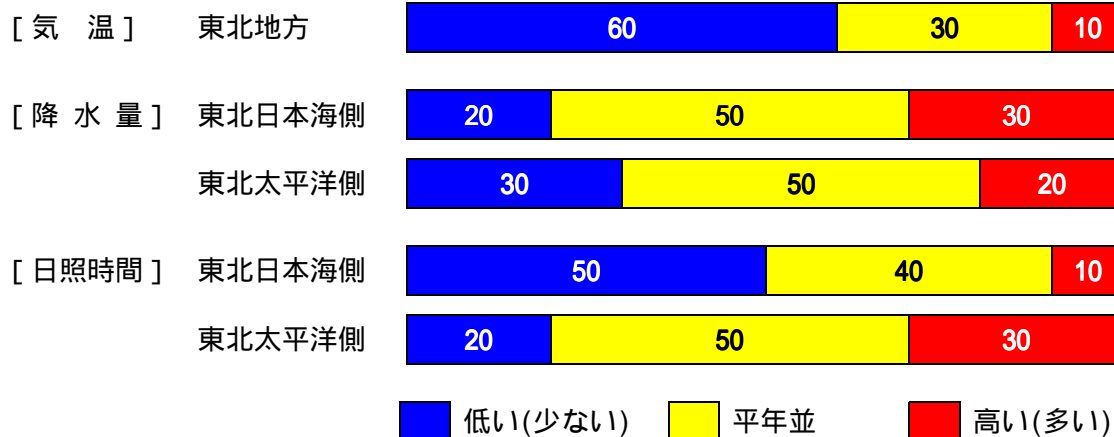
寒気の影響を受けやすく、東北日本海側では平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

東北太平洋側では平年同様に晴れの日が多いでしょう。

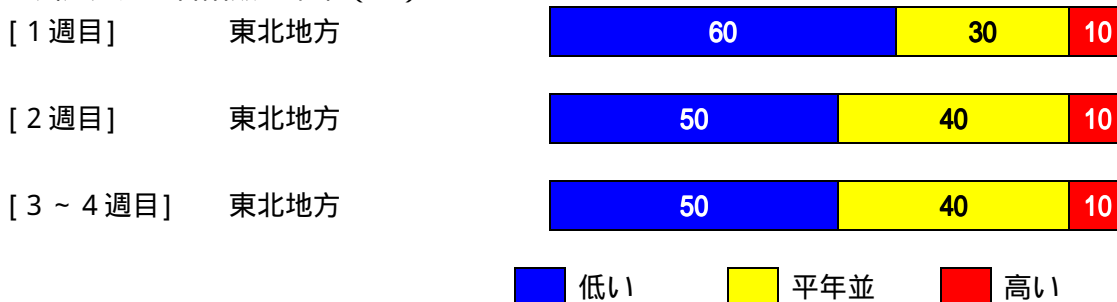
向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並、日照時間は東北日本海側は少なく、東北太平洋側は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに低い見込みです。

## < 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%) >



## < 気温経過の各階級の確率(%) >



## < 予報の対象期間 >

1 か月 : 10月19日(土)～11月18日(月)

1 週目 : 10月19日(土)～10月25日(金)

2 週目 : 10月26日(土)～11月 1日(金)

3～4週目 : 11月 2日(土)～11月15日(金)

## < 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 14時30分    次回は10月25日

3 か月予報 : 10月21日(月) 14時00分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30年平均値（向こう１か月の平均気温，降水量，日照時間と１週目，２週目，３～４週目の平均気温）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温 ( )		
				１週目	２週目	３～４週目
大船渡	10.5	118.1	150.3	12.5	11.3	9.6
新庄	8.6	186.4	84.6	10.9	9.6	7.6
若松	9.4	72.5	108.2	11.7	10.3	8.5
深浦	9.9	156.2	99.9	12.1	10.9	8.9
青森	9.0	127.9	120.4	11.3	10.0	7.9
むつ	8.7	115.6	135.1	11.0	9.7	7.6
八戸	9.1	72.6	154.9	11.4	10.1	8.1
秋田	10.1	178.3	115.4	12.3	11.0	9.0
盛岡	8.1	101.1	136.7	10.4	9.1	7.1
宮古	9.9	90.7	157.8	11.9	10.7	9.1
酒田	11.3	204.1	111.9	13.5	12.2	10.3
山形	9.6	76.3	120.2	11.9	10.5	8.6
仙台	11.4	78.9	154.4	13.6	12.3	10.5
石巻	10.7	81.7	161.8	12.9	11.7	9.8
福島	11.3	72.8	142.7	13.4	12.2	10.3
白河	9.9	76.5	154.0	11.9	10.7	9.0
小名浜	13.0	108.9	166.5	15.0	13.8	12.1

なお、気温，降水量，日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000年のデータに基づいた向こう１か月地域平均の気温，降水量，日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差 ( )	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)
東北地方	-0.4～+0.5	83～111	95～105
東北日本海側	-0.4～+0.5	92～107	94～106
東北太平洋側	-0.4～+0.5	68～120	96～105

（３）この予報期間の１週目，２週目，３～４週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	１週目	２週目	３～４週目
東北地方	-0.7～+0.6	-0.7～+0.8	-0.5～+0.6
東北日本海側	-0.7～+0.6	-0.7～+0.8	-0.5～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.6	-0.7～+0.8	-0.5～+0.7

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率60％の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに33％）から大きく隔たった確率（10％や60％、70％など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 14 年 10 月 18 日 仙台管区气象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(10 月 19 日～11 月 18 日)：

寒気の影響を受けやすく、東北日本海側では平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では平年同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

1 週目(10 月 19 日～10 月 25 日)：

21 日頃気圧の谷の影響で天気がくずれるでしょう。その後東北太平洋側では晴れますが、東北日本海側では寒気の影響で曇りや雨の日が続く見込みです。

なお、山岳部では期間の後半雪になる所があるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

2 週目(10 月 26 日～11 月 1 日)：

天気はおおむね周期的に変わりますが、低気圧の通過後は寒気が入り東北日本海側ではしぐれる見込みです。

平均気温は低いでしょう。

3～4 週目(11 月 2 日～11 月 15 日)：

低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では平年同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は低いでしょう。

平年の晴れ日数

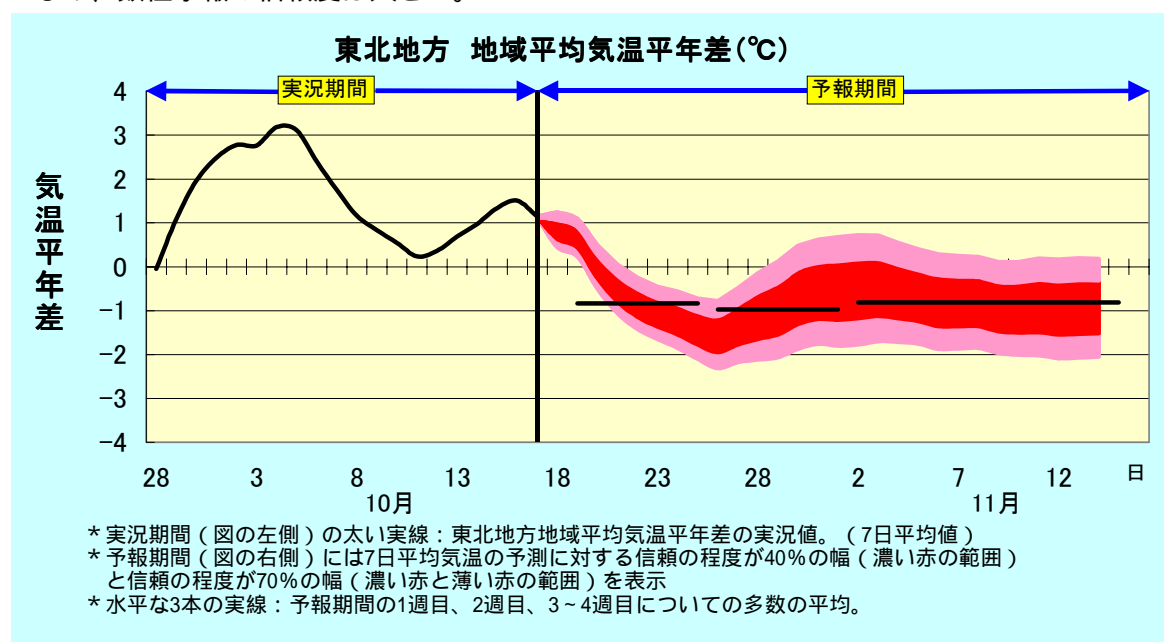
	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	11.4 日	3.4 日	2.8 日	5.2 日
東北太平洋側	16.8 日	4.2 日	4.1 日	8.5 日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

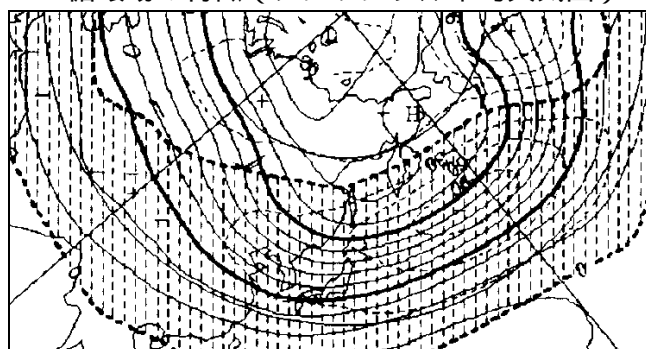
数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目ともに「低い」を予測している。

予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。



### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

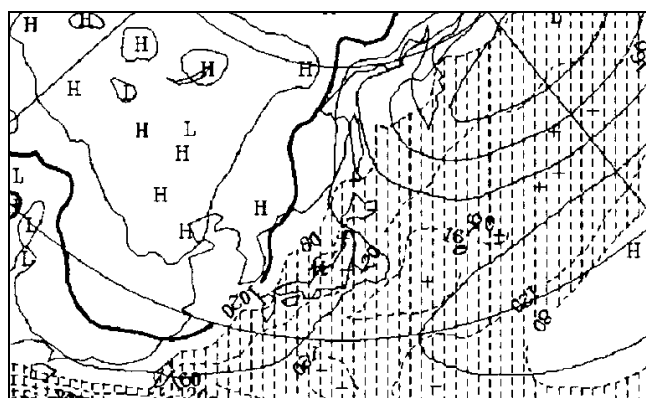


月平均の 500hPa 高度・偏差  
等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

#### 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、北極周辺の高緯度は正偏差、極東中緯度帯では広く負偏差となり、東北地方は寒気の影響を受けやすい見込み。

週別（図略）では、期間を通して極東中緯度帯は負偏差に覆われる。負偏差が特に大きいのは 1 週目の予想。



月平均の地上気圧と降水量  
等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

#### 地上気圧と降水量

月平均で見ると、アリューシャン付近に低気圧、中国大陸に高気圧が予想され、日本付近には広く降水域が予想されるが、東北から北陸にかけての日本海側に降水の中心が見られる。

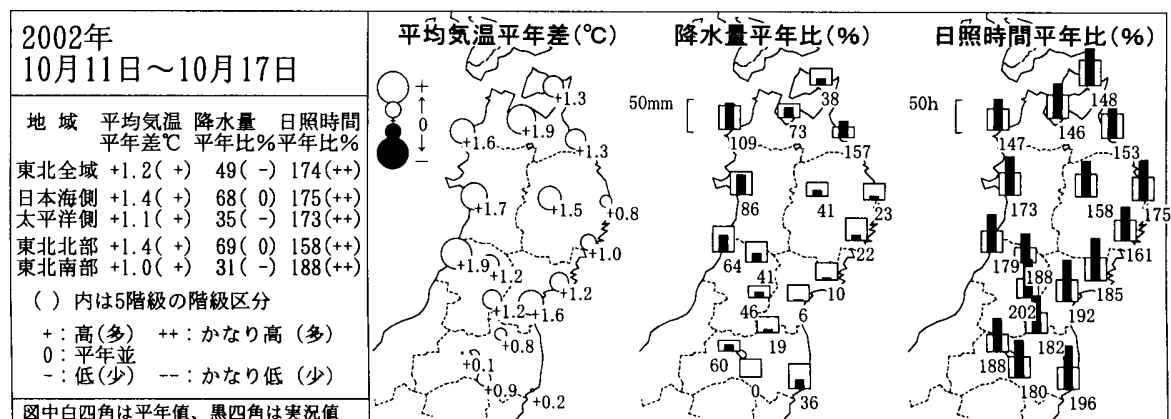
週別（図略）では、1 週目は、日本付近は低圧部で広く降水域に覆われる。2 週目は、ほぼ平年同様の気圧配置。3～4 週目は日本の東海上の低気圧が強まり、冬型の気圧配置。

### 4. 最近 1 週間（10 月 11 日～10 月 17 日）の天候の経過

この期間、15～16日は寒気を伴った低気圧の影響で曇りや雨となったが、その他の日は高気圧に覆われて晴れた。

なお、15日は大気の状態が不安定となり、各地で雷や強風による被害が発生した。

平均気温は、東北地方で平年差+1.2 と高かった。降水量は、東北北部で平年比69%と平年並、東北南部で平年比31%と少なかった。日照時間は、東北地方で平年比174%とかなり多かった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）